

平成30年 8月31日

平成30年度病害虫発生予察注意報（第6号）

和歌山県農作物病害虫防除所

1. 病害虫名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）
2. 対象作物：カキ、カンキツ、キウイフルーツ、ブドウ
3. 対象地域：県内全域
4. 発生量：多
5. 加害期間：8月下旬～
6. 注意報発表の根拠：
  - 1) 8月中旬のカキ「富有」の栽培園で被害が認められる。
  - 2) 紀の川市粉河の予察灯における8月5半旬（8月21～25日）のチャバネアオカメムシの誘殺数は341頭（平年108頭）、ツヤアオカメムシが227頭（同27頭）であった。
  - 3) 有田川町奥の予察灯における8月5半旬のチャバネアオカメムシの誘殺数は435頭（過去4年平均159頭）、ツヤアオカメムシが136頭（同76頭）であった。
  - 4) みなべ町東本庄の予察灯における8月5半旬のチャバネアオカメムシの誘殺数は532頭（過去8年平均435頭）、ツヤアオカメムシが131頭（同207頭）であった。
7. 防除上の注意事項
  - 1) 果樹カメムシ類の飛来量は園地間差が大きく、特に山林隣接園では早くから被害が出やすい。
  - 2) カキでは「富有」、カンキツでは収穫時期の早い極早生品種で被害が大きいため発生に注意する。
  - 3) 園内での果樹カメムシ類の発生及び被害状況をよく観察し、防除は発生に応じて早めに行う。
  - 4) 台風通過後や強風後には、一時的に発生が多くなることもあるので注意する。
  - 5) 夜温が低下すると果樹園への飛来数は減少するが、昼間の気温が高いと加害が続く。
  - 6) 予察灯による誘殺数の推移は、農業環境・鳥獣害対策室のウェブページ内農作物病害虫防除所の果樹カメムシ情報（<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070300/071400/boujyosyo-yosatsujoyouhou.html>）や各地域の振興局農業水産振興課、JA等の情報を参考にする。
  - 7) 農薬については、最新の登録情報（（独）農林水産消費安全技術センター・農薬登録情報提供システム [https://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](https://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)）を参照し、適正に使用する。特に、収穫が近い園では収穫前日数に注意する。

担当：農作物病害虫防除所

紀の川駐在 弘岡、間佐古 電話：0736-73-2274

有田川駐在 勘代、武田 電話：0737-52-4320



